『ふるさとは箕面』

現在鹿児島在住のササニシキ

結婚を期に箕面に住まうことになった当初は、まさかここまで箕面に所縁を覚えることになるとは、思いもしなかった。「夫と夫の家族が住む街だから。」そんな流れ任せのように箕面と出会ったのだけれど。小学生の頃の遠足や大人になってからの紅葉狩り。滝やお猿。スパーガーデンの温泉やスケート。偶さかのレジャーの場所でしかなかった街が、宮城県は仙台市から流れ流れて来た私のホーム：ふるさとになるなんて！

17年間の箕面。

新婚生活。出産。子育て。ボランティアに地域の役回り。PTA。かけがえのない友人達。自分の人生で大切なものは、すべて箕面で出会い、得たものだった。

7年前。生まれた時から箕面市民だった夫は、突然、鹿児島へ移動。家族である私達も

後ろ髪をひかれる思いで、箕面と別れること
になり。

「絶対に、夫の父母や大切な友達やそして
思い出深い箕面へ還るのだ」。そう思い九州へ
下った。現在、高齢の父母に会うために、そ
して2年後箕面へ居を移すことを目標に、箕
面へ訪れては、ちまちま努力中。

そう、私は再び、箕面と出会い、箕面を自
分のホーム：ふるさととして呼び戻すのだ。

20 × 20